

1 研究テーマ

<主題>

「小規模校から発信する、「そろえる教育」から、「伸ばす教育」への質的転換」

<副題>

「～どこからでも、誰とでもできるICTを活用した、
子供視点の「個別最適な学び」と「多様な他者との協働的な学び」との一体的な充実～」

2 テーマ設定の理由

「令和の日本型学校教育(答申)」の中で示された、「中山間地、小規模校での自前主義からの脱却」を具現化するために、地理的な制約や小規模校であるがゆえになしえなかった「協働的な学び」を、ICTを効果的に活用し実現していきたい。また、ICT技術により、弱みのはずだった学びが小規模校だからできる強みに変えることで、子供たちの自律的な学びを実現していくきっかけになると考えています。副題の「どこからでも、誰とでもできる……」はまさにICT活用の利点を謳っています。そして、小規模校において、子供たちが身に付けてきている「一人学び」を、子供の視点で考え改善することを通して、より「個別最適な学び」の実現につなげていきたいと思えます。3つの柱の資質・能力を育成する中で、最終的に目指す「持続可能な社会の創り手」の育成は、子供たちの自律的な学びの上に、成り立つものであると考えています。如何に、子供たちが主体的・自律的に学びに向かう環境を作っていけるか、そこが大きな鍵となります。副題の「子供の視点の……」は、主体性を伸ばすことに重きをおいて、教育の質的転換を図ることを意味しています。そして、副題最後の「多様な他者との……」は、子供たちが「持続可能な社会の創り手」となるために必要な「新たな価値創造の創出」に欠かせない要素であります。以上、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る中で、「そろえる教育」から「伸ばす教育」への質的転換を、小規模校から発信していくことを目指していきたいと思えます。

なお、主題と副題 2 つに分けた理由は、主題は、「令和の日本型学校教育」の理念の意味合いがあります。副題は、それを具現化するための手段を示してあります。